

JICA's Activity

より効果的な 援助のために

援助効果向上のための具体策をまとめた2005年2月の「パリ宣言」を機に、援助協調への取り組みが活発化している。そうした動きの中で、JICAはどのような方針の下で援助協調に取り組んでいるのか。

国際ドナーコミュニティでは、2000年のミレニアム宣言およびミレニアム開発目標(MDGs)の採択後、援助の量的拡大と並んで、援助の効果向上(aid effectiveness)を中心とする質的側面に対する関心が高まっている。05年2月には「パリ宣言」が採択され、援助効果向上のために必要な具体策をドナー国、パートナー国で共有した。特にサブサハラ・アフリカ諸国をはじめとする開発援助の現場では、ドナー間の援助手続きの共通化(調和化)、ドナーの援助戦略と相手国(被援助国)政府の国家開発計画との整合性の確保(アライメント)、公共財政管理・援助予測性向上、調達、開発成果マネジメン

トなどに焦点を当てた援助効果向上への取り組みが主流化しつつある。また、地域的にも、これらの動きはアフリカにとどまらず、アジア、大洋州、中南米の各地域にも広がりを見せている。このような背景の下で、日本はタンザニア、ベトナムでの財政支援のほか、SWAPSの枠組みの中でのプロジェクト型援助(カンボジア、ホンジュラスの教育分野支援、タンザニアの農業分野など)や公共財政管理支援(タンザニア、カンボジア)を実施している。

さらに、平和構築やアフリカ支援などJICAが必ずしも豊富な経験を有しているとはいえない分野における協力ニーズの高まりもあり、より効果・効率性の高い援助実施に向け、JICAは他ドナー、国際機関との連携・協調にますます力を入れている。具体的には、現在、国連開発計画(UNDP)、国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)、世界銀行グループ、アジア開発銀行(ADB)、米国際開発庁(USAID)、ドイツ技術協力公社(GTZ)を最重要連携機関と位置付け、各機関の特色(専門性、援助重点地域など)を踏まえ、特にフィールドにおける個々のニーズに基づいた現場レベルでの連携を図っている。また、本部レベルでの年次協議の実施や人事交流、連携協力調査員の派遣・受け入れに加え、南南協力やキャパシティ・デベロップメントなどに関する概念と協力事例の分析・共有、共同調査研究(UNDP)、開発援助と緊急人道援助のリンクの強化(UNHCR)、インフラ分野などにおける技術協力のスケーリングアップ(世銀)、保健・水分野での連携(USAID)、ウガンダ、ガーナ、アフガニスタンでの技術協力連携(GTZ)などを行っている。

セクター・ワイド・アプローチ。被援助国とドナーが協力してセクターごとに整合性のある開発計画を策定・実施すること。

主な国の援助協調(機関名、分野)

	A 主な具体的協調	B 主な国会・意見交換など
アジア	<p>るマナー復興・復興計画 UNDP:防災センター能力強化</p> <p>B DACC(Donor Assistance Coordinating Committee)ミーティング、サブグループミーティング、開発パートナー会議</p> <p>ミャンマー</p> <p>A UNICEF:拡大予防接種プログラム UNFPA:地域展開型リプロダクティブヘルスプロジェクト WHO:主要感染症対策プロジェクト</p> <p>ベトナム</p> <p>A ADB/UNFPA:ホアビン省保健医療サービス強化プロジェクト UNICEF:マルチバイ感染症対策特別機材供与 AusAID:ODA運営管理能力向上プロジェクト WHO:麻痺ワクチン製造基盤技術移転プロジェクト</p> <p>インドネシア</p> <p>A ADB:中小工業分野研修</p> <p>B CGII(会合、CGIワーキンググループ、ドナー会合、セクター会合など)</p> <p>東ティモール</p> <p>A ASEAN諸国と案件形成</p> <p>B WB主催のCSP(Consolidation Support Program)やPFMCBP(Planning and Financing Management Capacity Building Program)に参加</p> <p>カンボジア</p> <p>A WB:村落林業の人材育成 UNICEF/WHO:感染症対策 UNFPA:国勢調査 FAO:農業生産向上プロジェクト</p> <p>B 18の政府・ドナー課題別テクニカルワーキンググループ、政府ドナー調整委員会、CGI会合などドナー会合に関与</p> <p>インド</p> <p>A インド保健省のドナー連携プロジェクト「RCH-2(リプロダクティブ・チャイルドヘルス)プロジェクト」 WFP:給食プログラム</p> <p>スリランカ</p> <p>A WB:保健マスタープラン、学校教育改善プロジェクト UNHCR:コミュニティ・アプローチによる</p>	<p>B 初等教育分野のローカルドナー会合に参加</p> <p>パキスタン</p> <p>A WB・ADBによるパキスタン地震復興・復興アセスメント調査に参加</p> <p>B WB、ADB、バ政府が招集する主要ドナーの会合に参加 PRSP、保健医療、教育、震災復興・復興関連の会合に参加</p> <p>バングラデシュ</p> <p>A UNICEF:教育、保健、安全な水</p> <p>B LCG(Local Consultative Group)およびLCGサブグループに参加</p> <p>ケニア</p> <p>A USAID:地域支援プロジェクト「Safe-T Stop」活動拠点へのJOCV派遣、HIV簡易検査キット供与、技プロ「輸血血液安全性確保」、看護師育成及びVCTカウンセラー育成のための対スータン第三国研修、エイズ予防啓発活動 FAO:社会林業強化計画プロジェクト</p> <p>B Donor Sector Working Group(DSWG)ドナーセクター別作業会合(23セクター)に出席</p> <p>ニジェール</p> <p>A WB:住民参加型学校運営改善計画 PS:JOCV「ポリオ対策」 UNICEF:医療特別機材供与 UNFPA:第三国専門家を講師に派遣 WHO:ポリオ対策コールドチェーン整備</p> <p>B 重点3分野の関連会合に参画</p> <p>南アフリカ</p> <p>A UNHCR:コンゴ(民)帰還難民支援 MONUC(UNコンゴミッション):コンゴ警察民主化訓練 南ア警察/南ア独立選挙委員会:コンゴ(民)選挙支援セミナー</p> <p>タンザニア</p> <p>A USAID:無償資金協力「HIV/AIDS対策計画」 UNICEF:地方行政改革 KOICA:JOCV</p>
大洋州	<p>全保障の普及、次期PRSP策定作業における共同歩調形成 USAID:地域保健ネットワーク強化プログラム UNICEF/UNFPA/WHO:人間の安全保障基金によるプロジェクト「思春期のための人間の安全保障、バイオレンス、妊娠、妊産婦死亡、HIV/AIDSにかかるエンパワメントとソ・シャルプロテクション」 UNFPA:人口家族計画医療特別機材の供与</p> <p>B 避妊具供給システム、ジェンダー、保健セクター、多文化を尊重した協力のあり方、ポリビア農村技術システムに関するドナー会合に参加</p> <p>グアテマラ</p> <p>A UNDP:学校建設、教員、行政官の研修、ジェンダー支援、治安に関する共同基礎調査 UNDP/USAID/GTZ:広域地域警察セミナー CIDA:算数協力(JOCVチーム派遣) PAHO:シャーガス病対策プロジェクト</p> <p>エルサルバドル</p> <p>A IDB:貧困削減基金案件のフォロー UNDP:MDGs普及、実態把握 PAHO:シャーガス病対策プロジェクト</p> <p>B UNDPのリードでMDGsの分科会 日本は教育分野のドナー側調整役</p> <p>ホンジュラス</p> <p>A IDB:シャーガス病対策プロジェクト UNDP:MDGsセミナー WFP:学校給食事業、学校建設 UNFPA:母子保健関連機材供与 CIDA:算数指導力向上プロジェクト、シャーガス病対策プロジェクト PAHO:シャーガス病対策プロジェクト</p> <p>B ドナー会合G16(大使級GER、援助機関代表者レベルIGTS、セクター会合など)</p> <p>ドミニカ共和国</p> <p>A WB:PICセンター共同設立 IDB:貧困削減基金案件 GTZ:有機農業分野の調整 UNICEF:ワクチン接種共同協力 PAHO:地域保健サービス強化</p> <p>B 保健、教育、防災、森林保全、水資源、国境開発などのセクターでのドナー会合</p>	<p>B 現地援助調整委員会、部門別準備委員会・作業グループなどに参加</p> <p>ヨルダン</p> <p>A 仏/GTZ:イラク第三国研修水管理 UNESCO/仏/独:イラク第三国研修文化遺跡</p> <p>B 水や教育セクターなどのドナー会合、DLCG(Donor-Lender会合)に出席</p> <p>オーストリア</p> <p>A UNHCR:ボスニア・ヘルツェゴビナの間人安全保障支援 UNDP:ボスニア・ヘルツェゴビナのエコツーリズム支援 CIDA:ボスニア・ヘルツェゴビナのCBR支援</p> <p>ADB:アジア開発銀行 AFD:フランス開発行 AfDB:アフリカ開発銀行 AusAID:オーストラリア国際開発庁 CIDA:カナダ国際開発庁 CUSO:カナダ大学奉仕機構 DFID:英国国際開発省 FAO:国連食糧農業機関 GTZ:ドイツ技術協力公社 IDB:米州開発銀行 IOM:国際移住機関 KfW:復興金融公庫 KOICA:韓国国際協力団 NZAID:ニュージーランド国際開発機構 PAHO:米州保健機構 PS:米国平和部隊 SIDA:スウェーデン国際開発協力庁 SPREP:太平洋地域環境計画 UNCRD:国連地域開発センター UNDP:国連開発計画 UNESCO:国連教育科学文化機関 UNFPA:国連人口活動基金 UNHCR:国連難民高等弁務官事務所 UNICEF:国連児童基金 UNIDO:国連工業開発機関 UNODC:国連薬物犯罪オフィス UNOPS:国連プロジェクト・サービス機関 USAID:米国際開発庁 VSO:イギリス海外ボランティア・サービス WB:世界銀行 WFP:世界食糧計画 WHO:世界保健機関</p>
中東・欧州	<p>GTZ:短期職業訓練コース、イラク電力分野研修 UNESCO:アフリカ向け第三国研修「農地灌漑排水」</p> <p>バレスチナ</p> <p>A WB:地方自治財政支援 UNDP:日・バ基金運用 GTZ:環境 UNICEF/UNFPA:母子健康手帳配布</p>	